

事業ID: 助成契約書から事業IDを記載
事業名: CHANGE FOR THE BLUE in 愛知(CFB・海と日本2023)
団体名: 一般社団法人 海と日本プロジェクトin愛知県

極秘

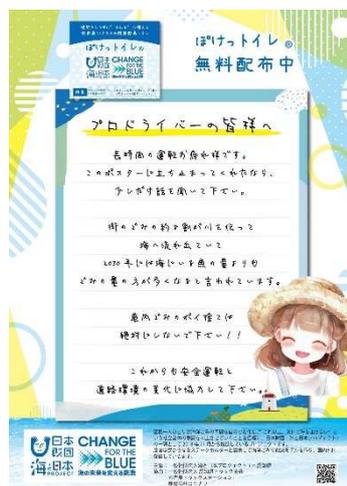
商品開発報告書

商品名	サッポロ生ビール黒ラベル「三河湾環境保全応援」缶
販売日	2023年5月16日(火)
販売場所	東海北陸エリア7県 (愛知県、岐阜県、三重県、静岡県、富山県、石川県、福井県) ・主な販路 イオン東海/ドン・キホーテ/酒のやまや/ウェルシア/ガリバー/酒屋ビッグ/酒のすぎた/スギヤマ薬品/トリト/セブンイレブン/マックスバリュ東海/塩鉄ストア/ヨシヅヤ/バロー/コノミヤ東海/ドミー/フィール/トヨタ生協
販売金額	約200円(税込)
販売個数	93,912缶
賞味期限	製造日より12カ月後
連携先	連携先名: サッポロビール株式会社 連携先事業内容: ビールメーカー 連携先がCFBに賛同した理由: 持続可能な社会を実現するための活動として海と川を美化に対する意識を商品を通してお客様に伝え、喚起できると考えたため。 連携内容: 海と日本プロジェクトコラボ「三河湾環境保全応援」缶の販売
海の学び/メッセージ	商品ラベル: 三河湾でとれる豊かな海産物やブルーカーボンとして注目される海草のアマモのアイコンをデザイン。また「海と日本プロジェクト」のロゴや三河湾環境再生プロジェクトのホームページに誘導する二次元コードも表記。 キャンペーンサイト: https://tv-aichi.co.jp/aichi_uminohi/mikawa/index.html
商品概要(開発ストーリー)	愛知県南部に位置する三河湾は、生態系を守る役目を果たす海草のアマモや、アサリ、スナメリなどが多数生息する、豊かな生態系に恵まれた地域。この地域の自然保護活動を支援するため、コラボレーション商品の売上1本につき1円を寄付を実施。また、今回の商品企画に携わったサッポロビール株式会社、愛知県および、一般社団法人海と日本プロジェクトin愛知県の、三者の自然保護活動に関する認知促進を図るため、缶およびスリーブのデザインに二次元バーコードを記載し、専用サイトに誘導する試みも実施。 三河湾自然保護活動を行っている愛知県環境保全基金への寄付金額は93,912円となった。



商品開発報告書

商品名	ぼけっトイレ
配布期間	2023年9月16日～
配布場所	名古屋トラックステーション (〒455-0855 愛知県名古屋市港区藤前3丁目601)
販売金額	無料
配布個数	1,000個(制作数:1,500個)
連携先	連携先名: 一般社団法人愛知県トラック協会 連携先事業内容: 愛知県内でトラック関連の業界や事業者を支援し、関連する情報を提供。 連携先がCFBに賛同した理由: 車内からのポイ捨てを問題視しているため。 連携内容: 名古屋トラックステーションにてぼけっトイレの無料配布及びアンケートの実施。
海の学び/メッセージ	商品ラベル: 海と日本プロジェクトコラボデザイン メッセージ: 海洋ごみ対策の一環としてポイ捨てを防止するために配布と記載。
商品概要(開発ストーリー)	ポイ捨てされるごみについて調べていくと、車内からのポイ捨てもかなりの量になることが分かった。特に車内から捨てられる「尿入りペットボトル」は一般人と比較してトラックドライバーが長時間運転、予期せぬ渋滞などやむを得ない状況に陥ることが多く運転中のトイレ問題に直面する機会が多いのではないかと考え、愛知県トラック協会の協力のもと、名古屋トラックステーションに世界最小サイズの携帯トイレ「ぼけっトイレ(海と日本プロジェクトコラボバージョン)」を開発。1無料配布するとともに、ポイ捨て禁止の啓発、及び簡易的なアンケートを実施しています。この取り組みを実施することで「尿入りペットボトル」の実態について調査しました。 ドライバーからは道路沿い、中央分離帯によくごみが落ちていたとの声が多くあり、ポイ捨て対策についてはもっとごみ箱を多く設置することやカメラなどが設置されてれば減るのではないかと意見をいただきました。



事業ID: 助成契約書から事業IDを記載
事業名: CHANGE FOR THE BLUE in 愛知 (CFB・海と日本2023)
団体名: 一般社団法人 海と日本プロジェクトin愛知県

極秘



愛知県環境保全基金へ寄付



ポケットトイレの配布
(名古屋トラックステーション内)